

石巻・生産拠点に津波



地域団体商標に登録された雄勝硯

## 被災の雄勝硯登録

(2015年2月5日河北新報朝刊)

階建ての4階まで浸水し、室町時代から続くと言われる硯文化の歴史的資料が流された。

組合は震災から一年半た

特許庁は、石巻市雄勝地区の伝統工芸品「雄勝硯(すずり)」を地域団体商標に登録した。雄勝硯は東日本大震災の津波で生産拠点が壊滅的な被害を受けた。出願した雄勝生産販売協同組合(石巻市)と、支援した同市などは、商標取得を契機に600年の歴史を持つ工芸文化の復興に強みをつけたいと考えた。

### 伝統工芸の復興に弾み

地域団体商標登録は、要件を満たした物品に、地名と商品名を合わせた商標を認める制度。地域ブランドを保護して競争力を強化し、地域経済を活性化する狙いがある。東北では大間関係機関の協力を得て出願まわろ(青森県大間町)や仙台半(宮城県)などが取

得し、雄勝硯が40件目となるため、保有していた資料を雄勝硯伝統産業会館もらった。雄勝地区は震災時、高さ20近い津波に襲われ、硯の生産業者や職人の施設や工房の大半が流失した。製品の販売やPRを担っていた復興に向けてさらに頑張りたい」と話す。

組合の沢村文雄理事長は「商標を得たことで、海外にも自信を持って輸出できるようになった。硯文化の復興に向けてさらに頑張りたい」と話す。

①石巻市雄勝地区はどこにあるのでしょうか。地図帳でさがしましょう。また、地図中の縮尺を使って、石巻駅からおよその距離を調べましょう。

およそ ( ) km

②雄勝硯は「地域団体商標」に登録されました。東日本大震災の津波で大きな被害を受けた生産販売業者や職人らでつくる組合が、関係機関の協力を得て出願しました。

(1)どのような機関が協力したのでしょうか。文中から読み取り、一つ書きましょう。

(2)雄勝地区はどのような被害を受けたのでしょうか。文中から読み取り、一つ書きましょう。

名前 組 年

(小学4年生/社会)